



日野町リノベーションLab  
Hino Renovation Lab

# アクションプランver.1.0

---

2023~2030年度

2024.5 日野町

# 日野町リノベーションLabアクションプラン 概要

基本戦略

【ビジョン】 町民が安心して暮らし続けることができる持続的発展が可能なまち

【基本方針】 日野町リノベーションLabの3本の矢

【人づくり】

現世代・次世代を担う町民が持続的発展が可能なまちづくりに必要な知識や考え方などを身につける

【仕組みづくり】

地域の暮らし・地域運営・経済等が抱える課題を解決する、新たな仕組みをつくる

【拠点づくり】

複雑な地域課題の解決につなげるため、多様な主体や知識が集まる拠点をつくる

まちづくりの知の拠点(プラットフォーム)とまちづくりの仕組み(システム)をつくる  
→将来的に他の中山間地域へ展開

【住民】

自らが町内で取り組みたいことについて、自身の知識や技術を活用し、住民Labを立ち上げ取り組む

【研究チーム】

日野町をフィールドとして地域課題の解決にむけた調査研究・実践、及び住民Labの活動支援を行う

【行政】

日野町役場プロジェクト推進室が日野町リノベーションLabのマネジメント、及び研究を行う

住民・研究チーム・行政が連携してそれぞれの取組を行うことで町全体のリノベーションを図る

アクションプラン

## I. 基本戦略

1. はじめに
2. アクションプランの構成
3. 発足の背景
4. 理念
5. 基本方針「日野町リノベーションLabの3本の矢」
6. 推進体制
7. ロードマップ

## II. アクションプラン

1. 研究チームの取組一覧
2. 研究チームの主な取組のアクションプラン
3. 住民Labの取組一覧
4. 住民Labの主な取組のアクションプラン



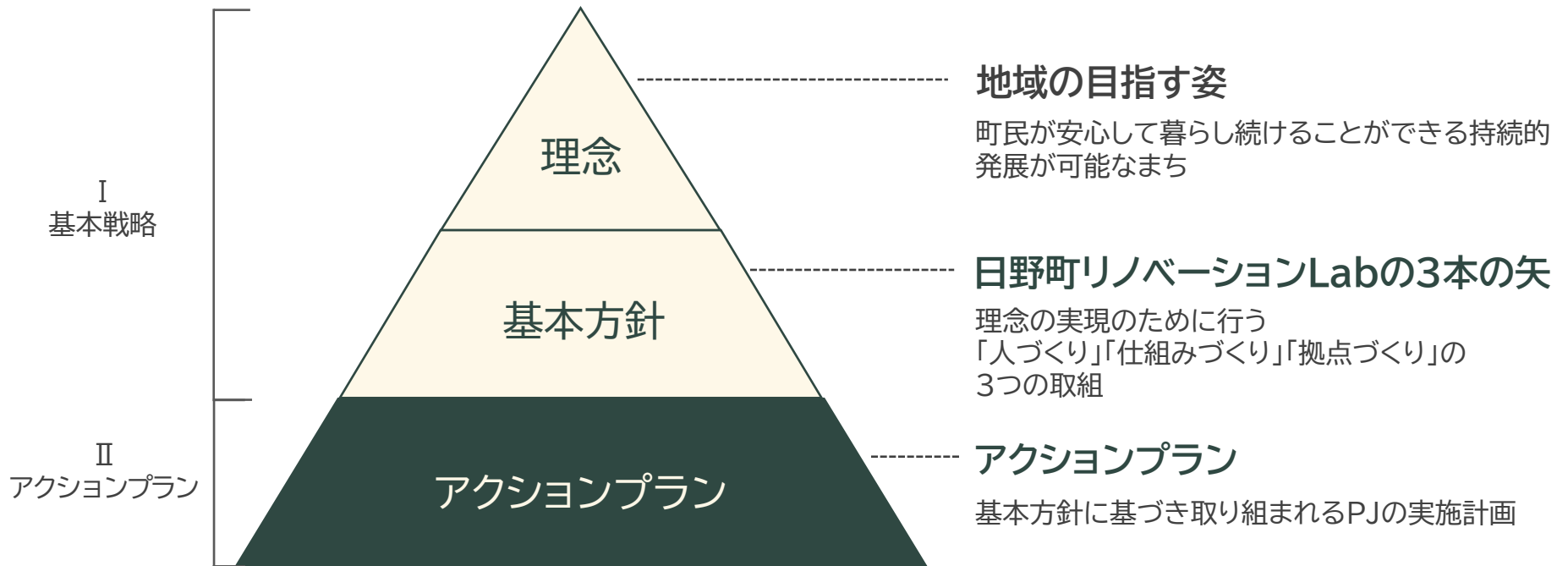
日野町リノベーションLab  
Hino Renovation Lab

# I. 基本戦略

# 1. はじめに

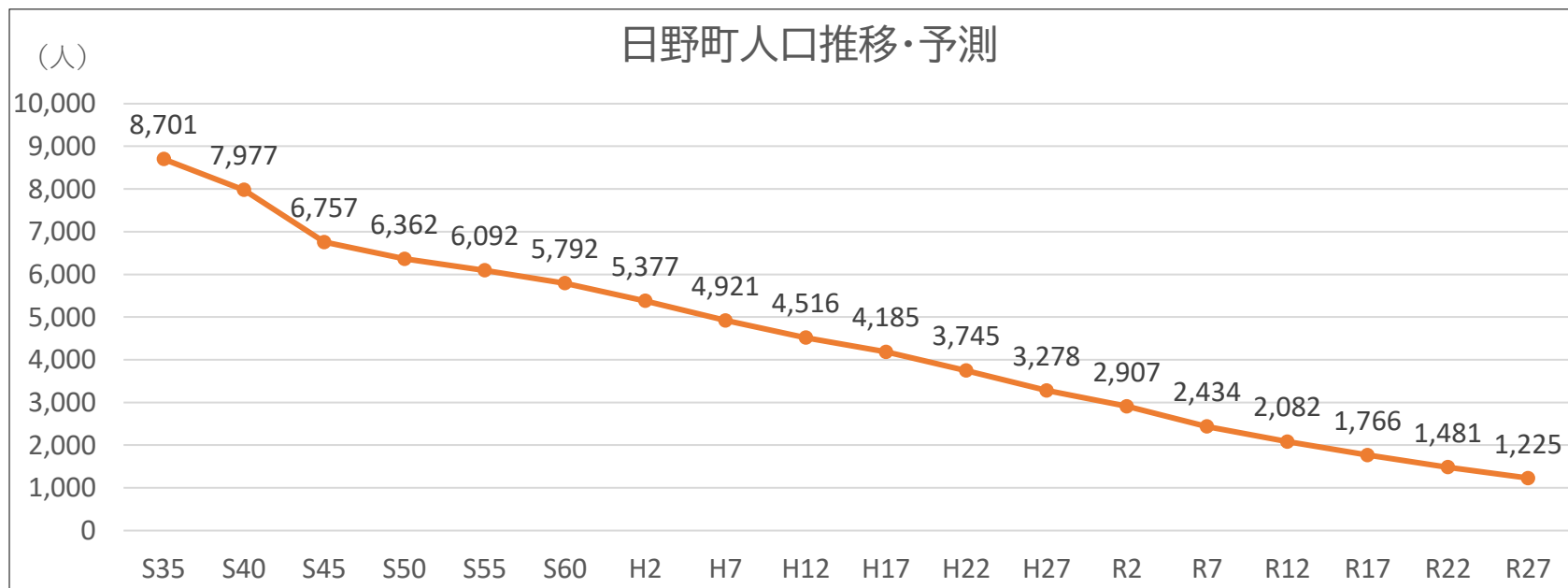
- 少子高齢化の進行とともに町の人口が減少する中で、日野町を町民が安心して暮らし続けることができる町として持続させていくためには、町の仕組みや関係者のまちづくりに対する意識の変革が必要である。
- これまで町は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、活力ある町の維持のための戦略（「きらり日野町創成戦略」）を策定し、取組を進めてきた。
- 今後さらに進む人口減少と高齢化に対応するためには、町民のまちづくりに対する関心を高め、町の産業や生活などに関する仕組みを見直すことが不可欠である。これらを町外の知識や技能なども取り入れながら早急に取り組むため、令和5年3月28日、日野町リノベーションLabが発足された。
- 本アクションプランは、日野町リノベーションLabに研究チームとして参画する団体や組織、および住民Labを対象として策定する計画である。

## 2. アクションプランの構成



### 3. 日野町リノベーションLab発足の背景 ～人口減少～

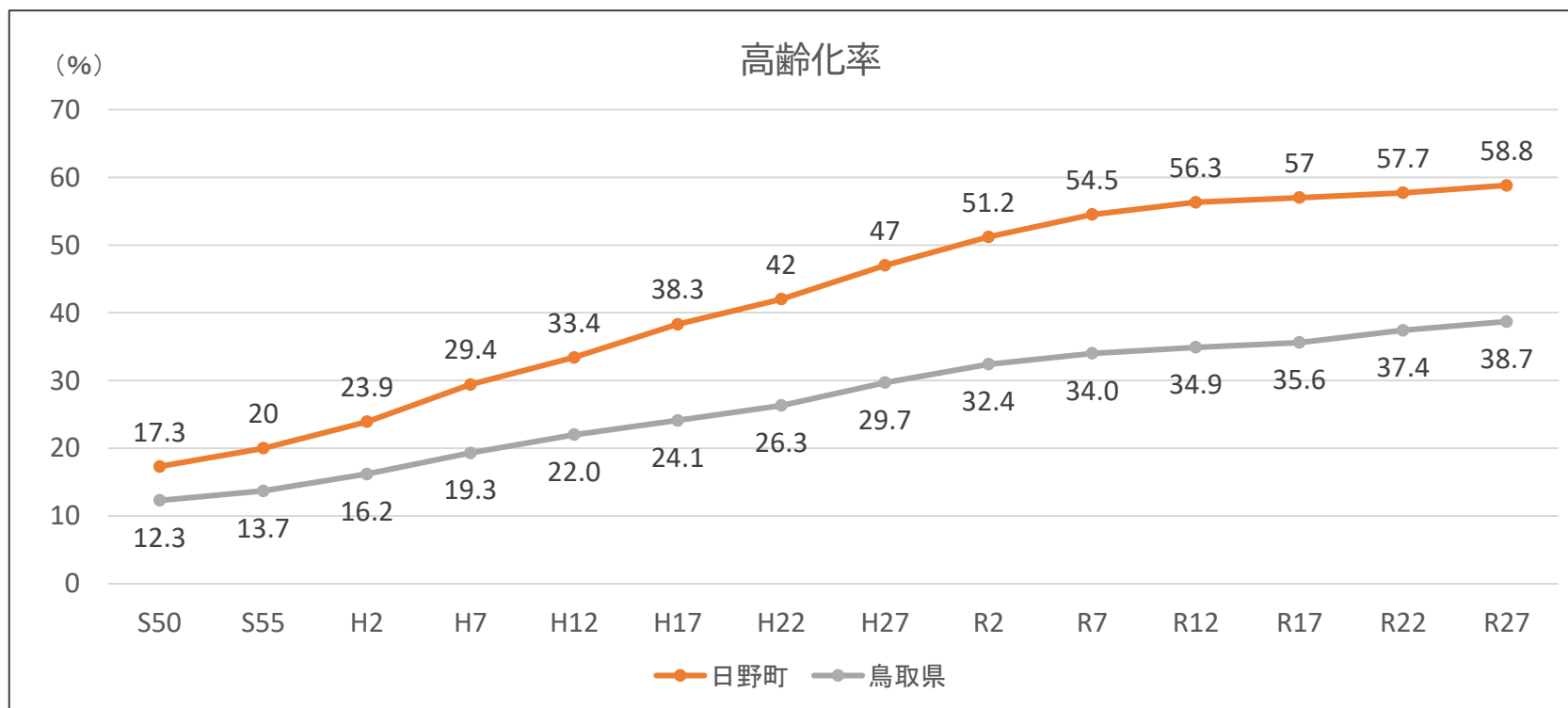
- 周辺町村との合併を経て、昭和35年時点での町の人口は8,701人であったが、高度経済成長に伴い都市への人口が流失し、令和2年時点で2,907人と、急激な人口減少による過疎化が進んでいる。
- さらに令和27年には1,225人と令和2年時点の約4割程度となることが見込まれている。



出典 「令和2年国勢調査」 (総務省)

### 3. 日野町リノベーションLab発足の背景 ～高齢化の進行～

- 高齢化率（65歳以上の人口割合）は令和2年時点で51.2%で、県平均の32.4%を大きく上回っており、農地をはじめ集落の維持が困難となる地域が生じることが予想される。



出典 「鳥取県年齢別推計人口(令和元年10月1日現在)」、「鳥取県人口移動調査(令和元年4月1日現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省)

## 参考 高齢者の健康維持のための100歳体操

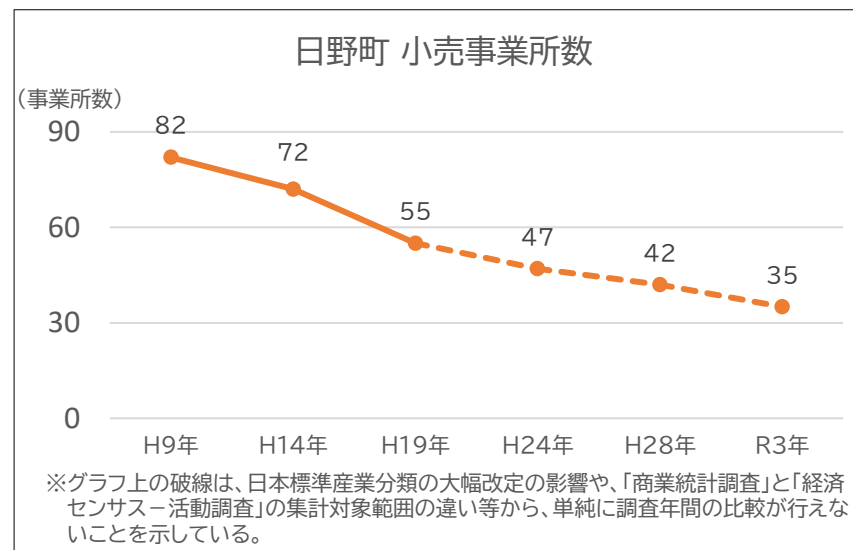
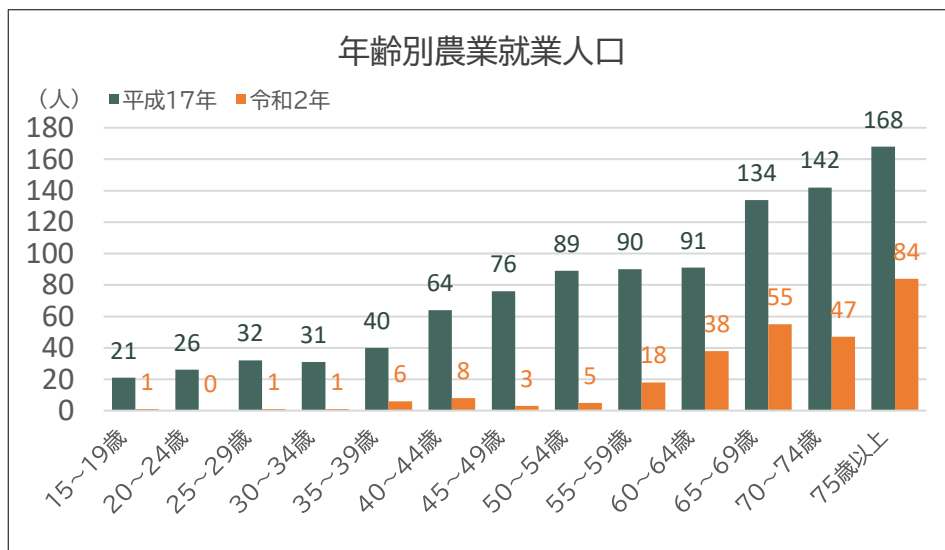
- 日野町では、増加する高齢者の健康維持やコミュニティ維持のため、100歳体操を全集落で実施することによる健康維持、介護予防、つながりあいを進めている。



提供 日野町企画政策課

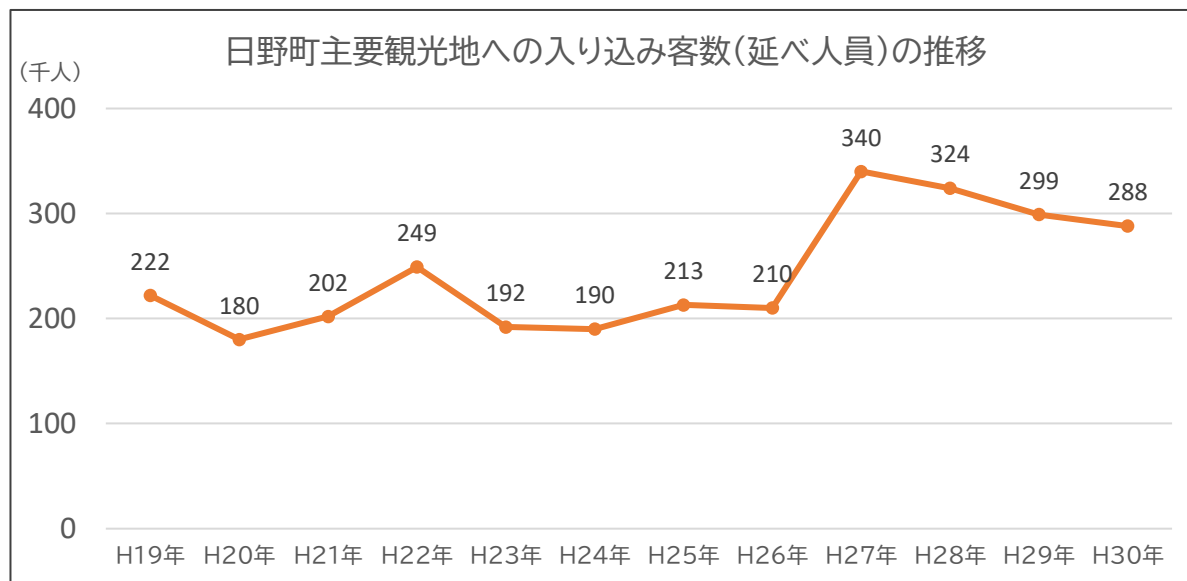
### 3. 日野町リノベーションLab発足の背景 ～産業・経済の状況悪化～

- 本町の基幹産業は農業であるが、労働者の高齢化や後継者不足が生じている。
- 第三次産業である商業においては、人口減少と後継者不足に加え、近隣市町村への大型ショッピングセンターの進出などによって、町内の小売事業所数は減少している。



### 3. 日野町リノベーションLab発足の背景 ～産業・経済の状況悪化～

- 一方で、近年は金持神社やおしどり小屋などを生かした観光振興が図られ、新たな経済効果を生み出しつつある。



しかし、構造的な不況を脱するには至っておらず、地域経済をめぐる状況は厳しいものとなっている。

### 3. 日野町リノベーションLab発足の背景 ～社会インフラの状況悪化～

- 単身高齢者や高齢者のみ世帯の増加等により在宅生活の困難な状況が増える中、小売事業所の減少により、買い物弱者となる町民が増加している。
- また、自動車を運転できない人や免許を返納した高齢者においては、日常生活での移動手段の確保も課題となっている。
- 現在日野町は、町民が安心して暮らせる町を維持するため、合同会社ひまわりに移動販売の業務および高齢者の見守り業務の委託を開始した。また、「タクシー利用者への補助金制度」による町民の出かける機会の創出などにも取り組んでいる。



提供 日野町企画政策課

## 4. 理念

町民が安心して暮らし続けることができる持続的発展が可能なまち

- 前述の通り急激な人口減少による過疎化や、それに伴う産業の縮小、社会インフラの整備の問題など、日野町は現在多くの課題を抱えており、町を持続させることが困難になりつつある。
- また、こうした状況の変化は急激に進行しており、行政の補助や助成などでは支援が行き届かなくなりつつある。
- そのため、町の持続には行政のみならず町民や町に関わりを持つ全ての人と一緒に、課題解決に取り組むことが重要となる。
- こうした中、住民と行政、および研究チームの連携により持続的発展が可能なまちを実現させようと、日野町リノベーションLabを発足した。
- 日野町リノベーションLabは、町の抱える課題を解決させ「町民が安心して暮らし続けることができる持続的発展が可能なまち」の実現を目指す。

## 5. 日野町リノベーションLabの概要

日野町リノベーションLab\*とは  
日野町をより価値の高い状態に生まれ変わらせるための研究室

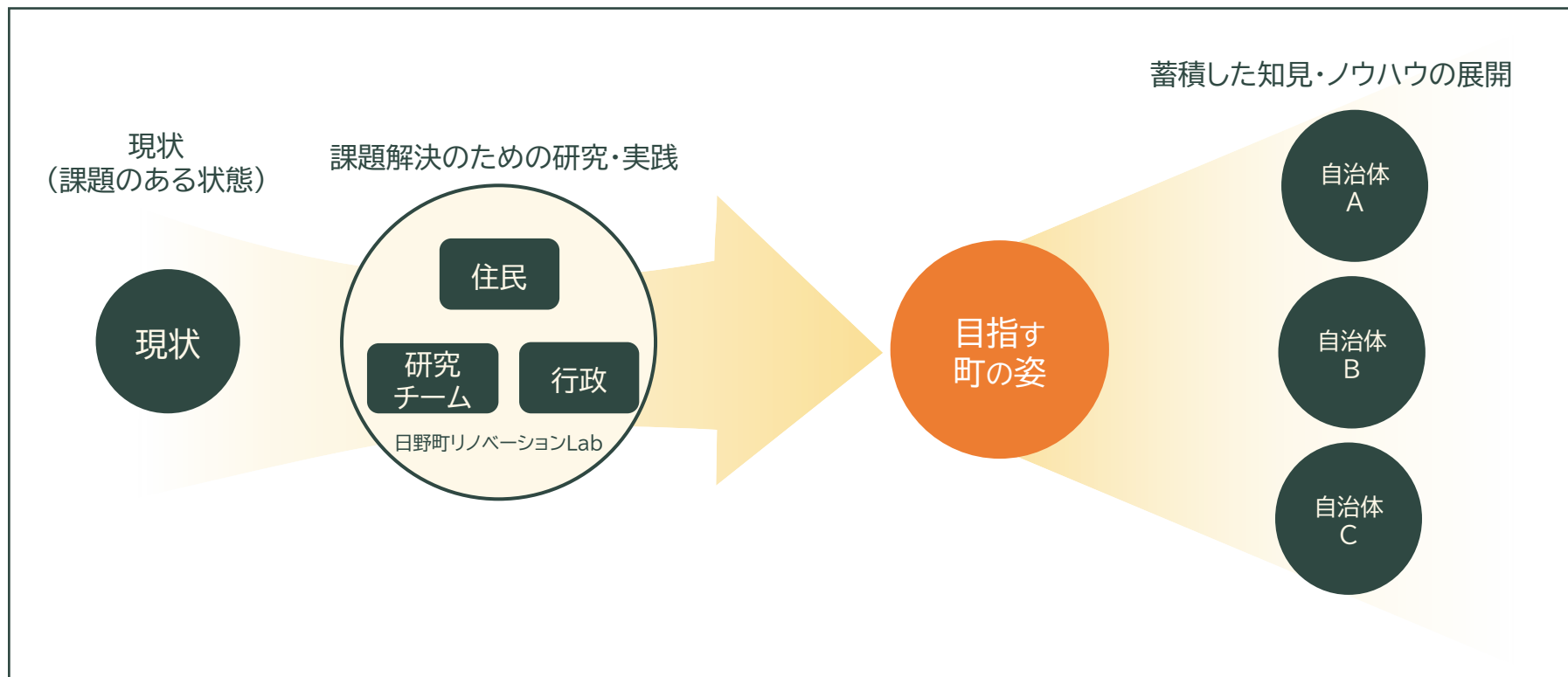
- 日野町リノベーションLabの構成要素は、住民、研究チーム、行政である。
  - 住民は自らが町内で取り組みたいことについて、自身の知識や技術を活用し、「住民Lab」を立ち上げ、プロジェクトとして取り組む。
  - 研究チームとは、日野町をフィールドとして地域課題の解決にむけた調査研究・実践を行う民間企業・研究機関・市民団体等の総称である。研究チームは調査研究・実践をプロジェクトとして取り組む。
  - 行政は住民Labと研究チームの連携支援や調査研究・実践のサポートを行う。
- これらのプロジェクトを盛んに行うことで、町内に「まちづくりの知の拠点（プラットフォーム）」と「まちづくりの仕組み（システム）」をつくることを目指す。
- ◆ 住民Lab、研究チーム、行政が連携することで、日野町全体のリノベーションを図る。

※リノベーションとは「よみがえらせること」「価値を高めること」の意  
また、Lab（ラボ）とはlaboratory（ラボラトリー）を略したものであり、「研究室・実験室」の意

## 5. 日野町リノベーションLabの概要

- 将来的には蓄積した知見・ノウハウを他地域にも展開し、中山間地域に共通する課題の解決に取り組む。

### 【日野町リノベーションLabの活動イメージ】



## 6. 日野町リノベーションLabの基本方針

- 日野町リノベーションLabは、「町民が安心して暮らし続けることができる持続的発展が可能なまち」の実現を目指し、「日野町リノベーションLabの3本の矢」として3つの基本方針を掲げている。

### 【ビジョン】

町民が安心して暮らし続けることができる持続的発展が可能なまち

### 【日野町リノベーションLabの3本の矢】

#### 【人づくり】

現世代・次世代を担う町民が、持続的発展が可能なまちづくりに必要な知識や考え方などを身につける

#### 【仕組みづくり】

地域の暮らし・地域運営・経済等が抱える課題を解決する、新たな仕組みをつくる

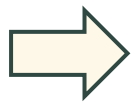
#### 【拠点づくり】

複雑な地域課題の解決につなげるため、多様な主体や知識が集まる拠点をつくる

## 6. 基本方針（日野町リノベーションLabの3本の矢） 【人づくり】

現世代・次世代を担う町民が  
持続的発展が可能なまちづくりに必要な知識や考え方などを身につける

- 日野町が安心して暮らし続けられる持続的発展が可能なまちになるためには、行政のみならず町民自身が課題解決に取り組むことが求められる。
- 今までの日野町は、地域に住み続け、家族を支え、地域（ふるさと）を守る機運を醸成する人材育成が課題であった。
- 今後は、人づくり（担い手育成）から地域をよみがえらせるため、町民の地域を守る意識やまちづくりに参画する意識を育む必要がある。



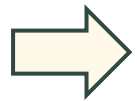
現世代・次世代を担う町民は集落および趣味の集まりなどによる住民Labを立ち上げ、まちづくりに参画する。

また、住民Labの取組を研究チームが支援することにより、町民がまちづくりに必要な知識や考え方の定着を促進する。

## 6. 基本方針（日野町リノベーションLabの3本の矢） 【仕組みづくり】

地域の暮らし・地域運営・経済等が抱える課題を解決する  
新たな仕組みをつくる

- 現在日野町では、人口減少と高齢化により集落機能を支えられなくなるなどの地域運営の課題や、かつてあった食堂や商店等の消失、工場の閉鎖などによる雇用の消失など、多くの課題が発生している。
- このような町民の暮らしや経済等の仕組みなどの維持が困難になりつつあり、地域の負の連鎖が生じている。



これら課題について、解決するための研究や実践に取り組むことで、町民が安心して暮らし続けられる新たな仕組みをつくる。

主な取組は以下の通りである。

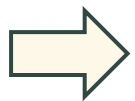
- ・ 旧黒坂小学校のサテライトオフィスを利用する企業の誘致や、起業等のサポートによるビジネスイノベーションを創出する仕組みづくり
- ・ 高齢者の買い物等生活を支える仕組みづくり
- ・ 他出子<sup>※</sup>を巻き込んだ支え合いの仕組みづくり

※他出子とは、出身世帯を離れて暮らす家族のこと

## 6. 基本方針（日野町リノベーションLabの3本の矢） 【拠点づくり】

複雑な地域課題の解決につなげるため、多様な主体や知識が集まる拠点をつくる

- 地域課題は多様な背景により引き起こされる複雑なものであり、課題解決には多様な知識が必要である。
- そのため、地域課題解決に取り組む日野町リノベーションLabは、研究や実践のための多様な主体・知識が常に集まる「まちづくりの知の拠点（プラットフォーム）」となることを目指す。

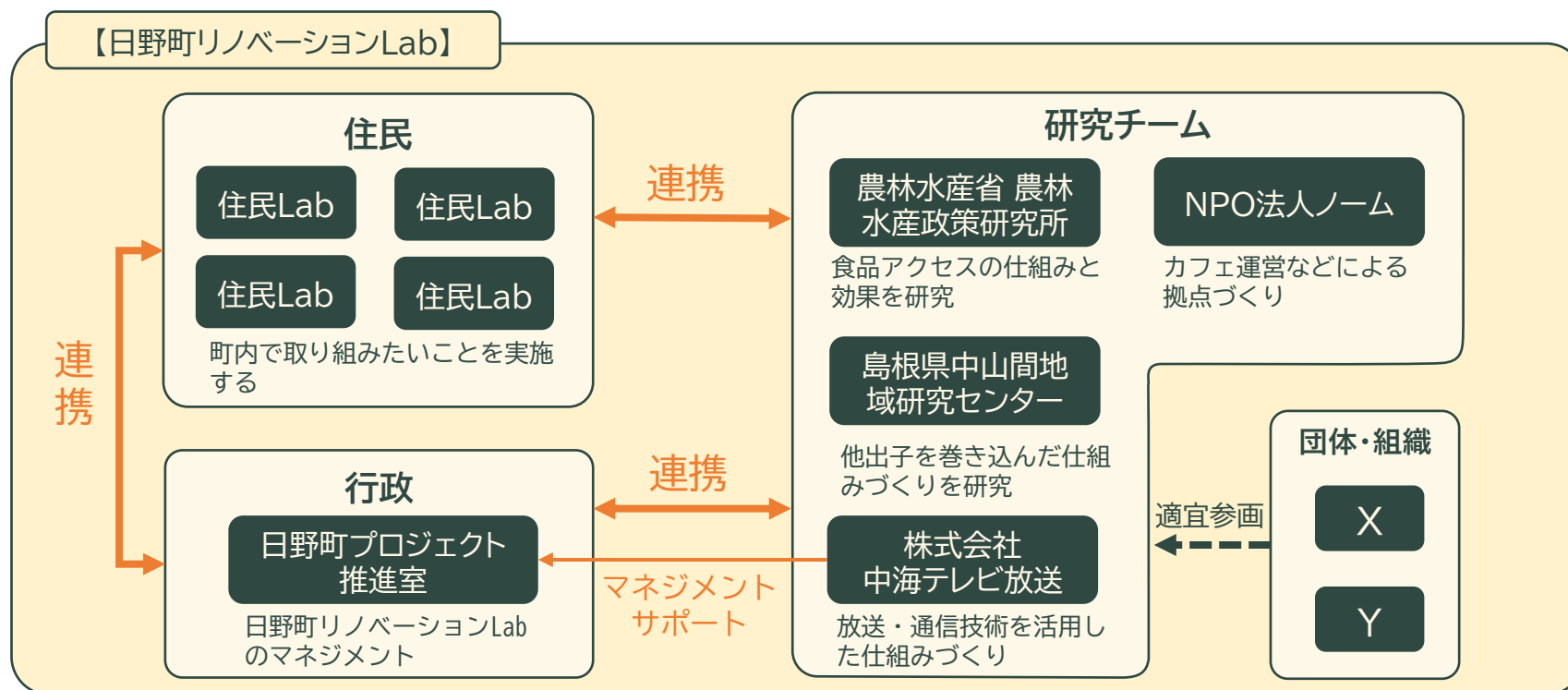


活動拠点である旧黒坂小学校に町内外の様々な人を集め、拠点としての機能を強化する。  
主な機能は以下の通りである。

- ・ サテライトオフィス
- ・ 子ども食堂
- ・ 町民の憩いの場

## 7. 推進体制

- 日野町リノベーションLabは、令和5（2023）年9月29日現在、4つの研究チーム、日野町プロジェクト推進室、および26の住民Labにより構成されている。研究チームはそれぞれの研究・実践に加え、住民Labと連携して取組を進める。
- 今後、中山間地域の課題解決に意欲的な団体・組織および住民Labの継続的な参画を想定する。

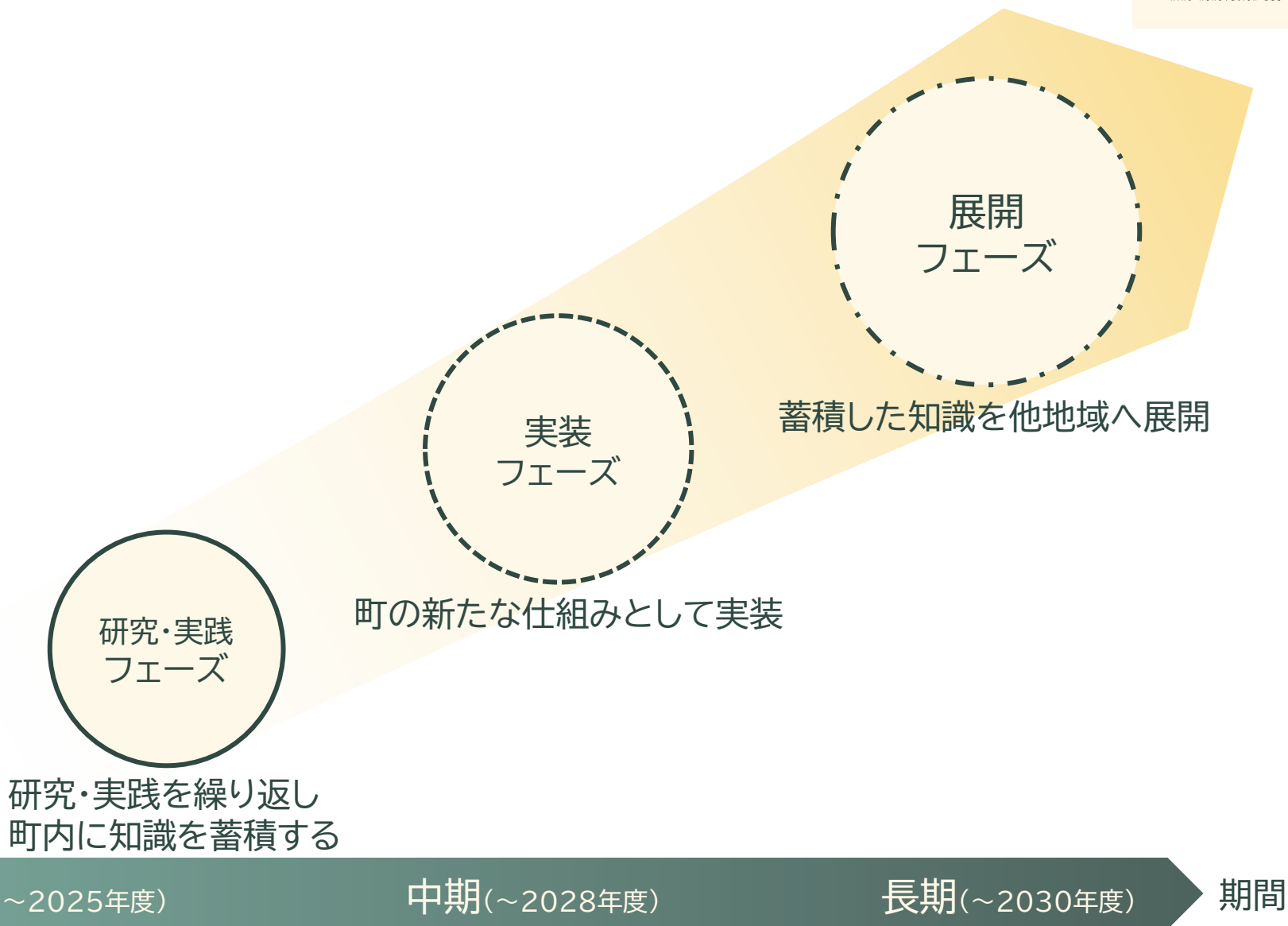


## 8. ロードマップ

対象エリア

他の中山間地域

町内





日野町リノベーションLab  
Hino Renovation Lab

## Ⅱ. アクションプラン

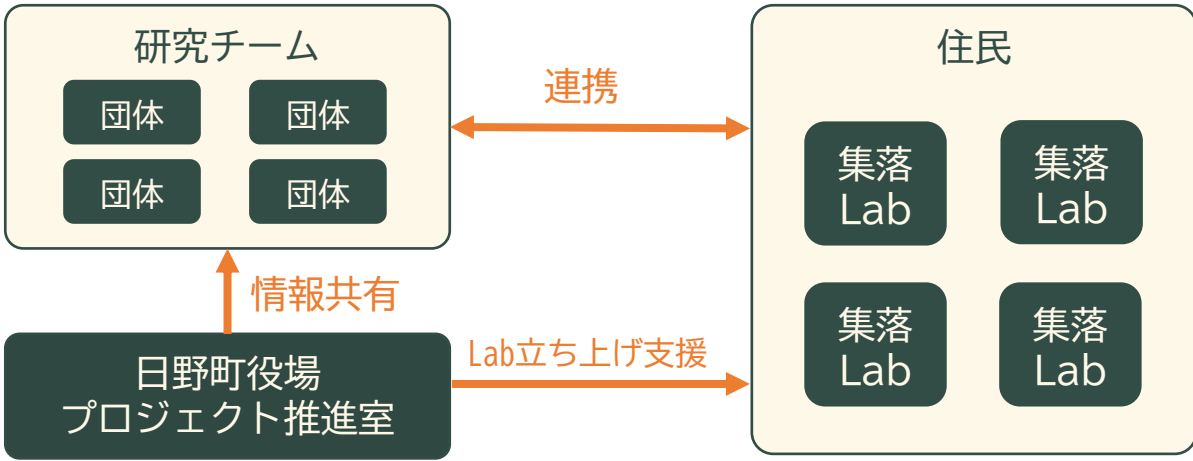
1. 研究チームの取組一覧
2. 研究チームの主な取組のアクションプラン
3. 住民Labの取組一覧
4. 住民Labの主な取組のアクションプラン

# 1. 研究チームの取組一覧

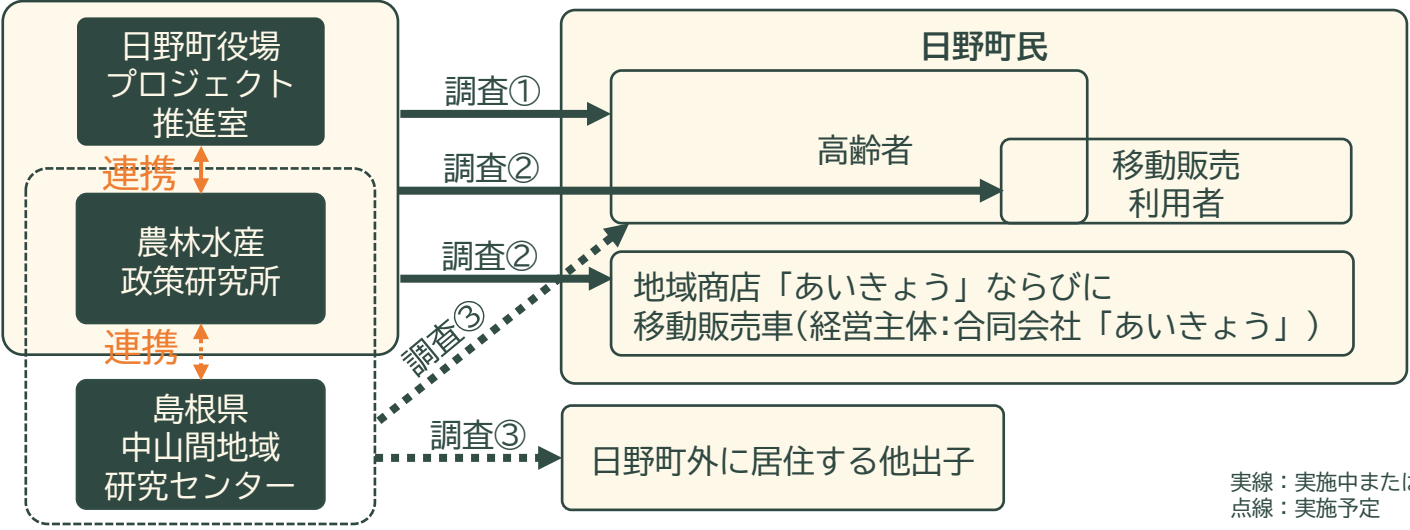
3本の矢	研究・取り組み	団体名	概要
人づくり	集落リノベーションPJ	日野町	各集落Labと連携し、集落のリノベーションを図る
	円卓会議PJ	島根県中山間地域研究センター	地域が抱える課題を地区や分野を超えて共有する学び合いの実施
	未来デザインラボPJ		地域に関わる人自身が未来を描くビジョンづくりの実施
仕組みづくり	マイスターPJ	日野町	町内の何か特技を持っている人をマイスターに認定、継承へつなげる
	担い手PJ		町内の様々な業種の担い手を発見
	ウォーキングPJ		
	葉ワサビPJ		葉ワサビの販売促進
	食品アクセスPJ	農林水産省農林水産政策研究所	移動販売を通じた食料品供給、見守りサービス、近所付き合いについての調査・研究
	アクションリサーチPJ	島根県中山間地域研究センター	地域住民へのヒアリング調査（生活実態調査）の実施、他出子・関係人口の把握と連携・協働を促進させる調査・研究を展開
	共生農法PJ	NPO法人ノーム	共生農法について住民と共に学び、取り組む
マイクロ水力発電	その他	エネルギーと経済の地域内循環を図る	
拠点づくり	リノベーションCafé PJ	NPO法人ノーム	黒坂フェスタ等でおむすびカフェ等を出店
	手仕事教室PJ		黒坂小学校を拠点に手芸教室を開催
	リノベーションラボ アクションプラン作成	株式会社中海テレビ放送	リノベーションラボのアクションプランを作成
	情報発信		リノベーションラボの取組をニュース取材等で発信

- 研究チームの主な取組のアクションプランは次の通り。

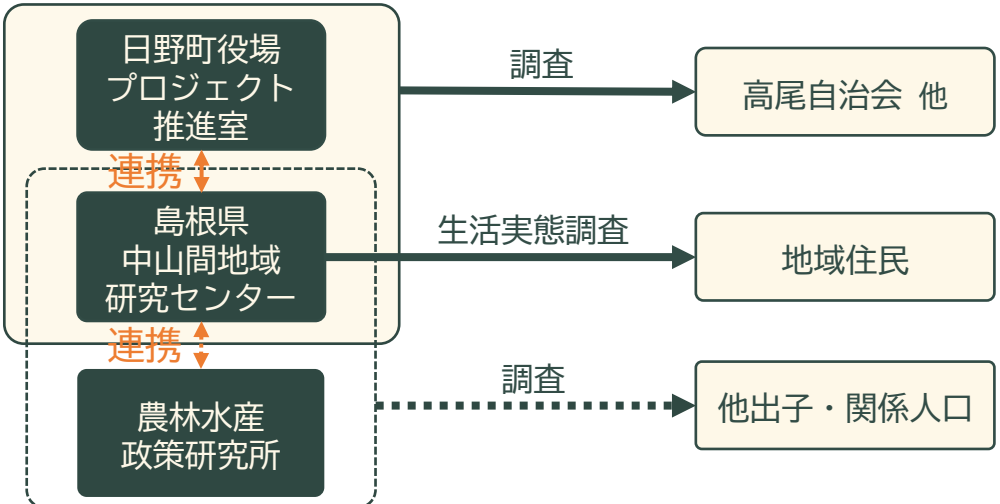
## 2. 研究チームの主な取組のアクションプラン 【人づくり】「集落リノベーションPJ」

PJ名	人づくり	集落リノベーションPJ
主体	・日野町プロジェクト推進室	
目的・効果	・集落内のつながりの強化、および地域づくりに対して高い意識を持つ人材の育成	
対象	・日野町内の全集落	
概要	・町内の全集落が集落Labを立ち上げ、住民が日野町リノベーションLabで実施したいことについてPJとして取り組む	
体制		
年度計画	令和5年度	・久住集落、高尾集落、中菅集落、上上菅集落、黒坂7区、下福長集落から合計6つの集落Labが立上がり、PJに取り組んでいる
	令和6年度以降	・研究チームとの連携によるPJの推進 ・その他の集落からも集落Labを立ち上げ、PJに取り組む

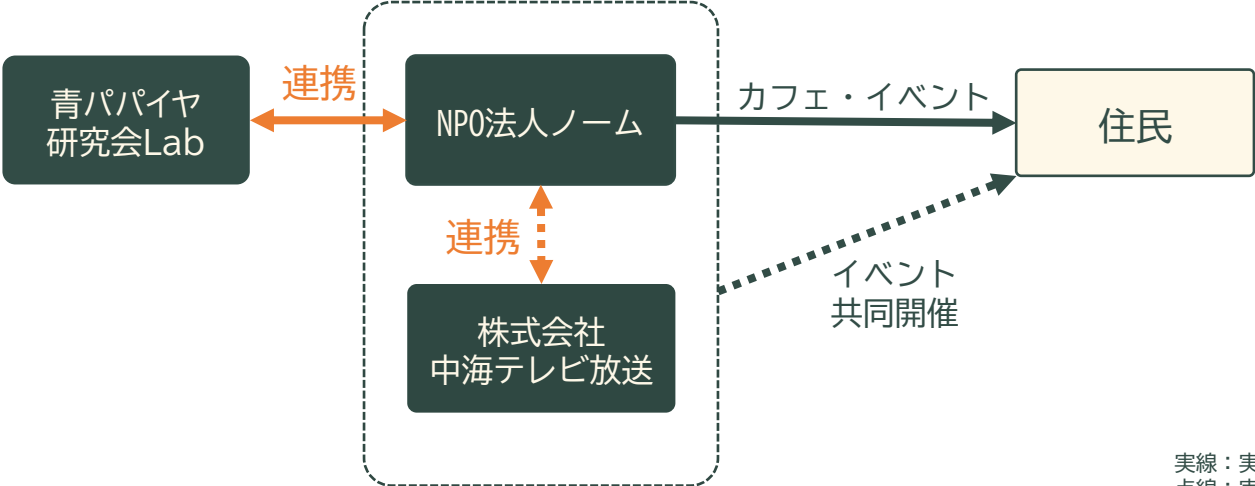
## 2. 研究チームの主な取組のアクションプラン 【仕組みづくり】「食品アクセスPJ」

PJ名	仕組みづくり	食品アクセスPJ
主体	・農林水産省 農林水産政策研究所	
目的・効果	・「食」と「福祉」の連携を活かした高齢者の食品アクセス環境の整備	
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商店（あいきょう）ならびに移動販売車を運営する合同会社「ひまわり」</li> <li>・日野町在住の高齢者とその他出子</li> </ul>	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査①：高齢者の食料品摂取状況に関する実態把握</li> <li>・調査②：地域商店と移動販売車の食料品供給機能と販売員との会話による健康増進機能の評価</li> <li>・調査③：移動販売の見守り機能の価値評価</li> </ul>	
体制	 <p>実線：実施中または実施済み 点線：実施予定</p>	
年度計画	令和5年度	・高齢者の食品摂取状況と健康増進に寄与する取組の調査研究（調査①・②）
	令和6年度以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売の食料品供給機能の評価（調査②）</li> <li>・移動販売の見守り機能による、介護福祉や遠方の家族の負担軽減などの効果について、島根県中山間地域研究センターと連携した他出子調査（調査③）</li> </ul>

## 2. 研究チームの主な取組のアクションプラン 【仕組みづくり】「アクションリサーチPJ」

PJ名	仕組みづくり	アクションリサーチPJ
主体	・島根県中山間地域研究センター	
目的・効果	・地域で暮らす住民だけではなく、他出子や関係人口など地域に関わる人とのつながりやネットワークを質的に捉えることで、地域内外の主体が連携・協働することによってできる支え合いの仕組みをつくる	
対象	・高尾自治会、金持自治会、後谷自治会等、日野町からの他出子・関係人口	
概要	・地域住民へのヒアリング調査（生活実態調査）および他出子・関係人口を把握するための調査を実施	
体制	 <p>実線：実施中または実施済み 点線：実施予定</p>	
年度計画	令和5年度	・地域住民へのヒアリング調査をもとに、今後の調査ポイントを整理
	令和6年度以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内他地区でのアクションリサーチの実施</li> <li>・他県の調査結果との比較分析</li> <li>・農林水産政策研究所と連携した調査の実施</li> <li>・他出子とのネットワーク連携を目的とした「小さな拠点づくり」の支援</li> </ul>

## 2. 研究チームの主な取組のアクションプラン 【拠点づくり】「リノベーションCafé PJ」

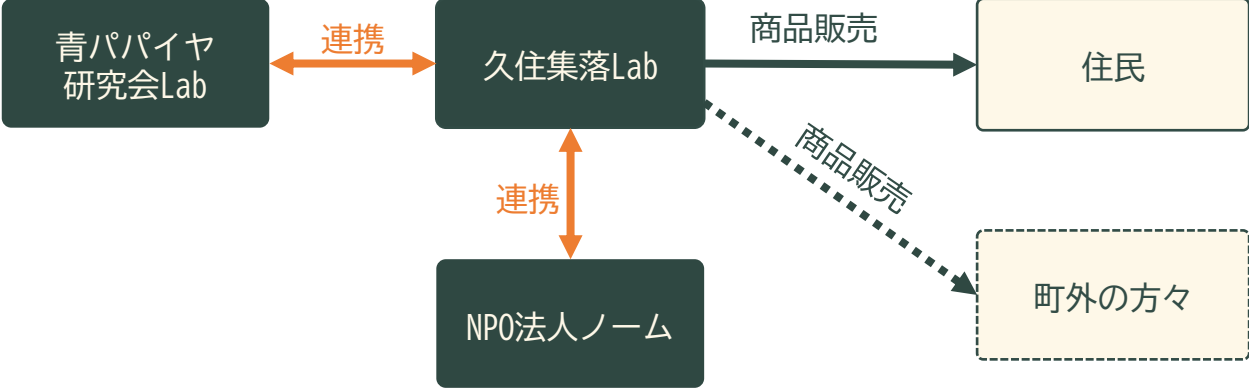
PJ名	拠点づくり		リノベーションCafé PJ
主体	・ NPO法人ノーム		
目的・効果	・ 日野町リノベーションLabの活動拠点である旧黒坂小学校に、人が集う楽しい場を創造する		
対象	・ Café利用者		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒坂フェスタ等でおむすびカフェ等を出店</li> <li>・ 日野町民が参加できるイベントを旧黒坂小学校で実施</li> </ul>		
体制	 <p>青パイパイヤ研究会Lab</p> <p>連携</p> <p>NPO法人ノーム</p> <p>カフェ・イベント</p> <p>住民</p> <p>連携</p> <p>株式会社 中海テレビ放送</p> <p>イベント共同開催</p> <p>実線：実施中または実施済み 点線：実施予定</p>		
年度計画	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2、第4水曜日に旧黒坂小学校内でカフェ提供</li> <li>・ 住民Labの青パイパイヤ研究会Labとの連携</li> </ul>	
	令和6年度以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カフェの運営を継続。メニューや品数の追加を検討</li> <li>・ 町民向けイベントを企画</li> <li>・ 子供たちを中心とした住民Labの取り組みを支援</li> </ul>	

### 3. 住民Labの取組一覧

3本の矢	研究・取り組み	団体名	3本の矢	研究・取り組み	団体名
人づくり	地域研究PJ	日野高校Lab	拠点づくり	黒坂フェスタPJ	黒坂フェスタLab
	リンゴで人材育成PJ	阿毘縁特産グループLab(阿毘縁)		黒坂小利活用PJ	
	マーケティング講座PJ	サウザライトLab		キャンプPJ	黒小Lab
	マイスターPJ	スタッフLab		つりぼりPJ	
	えんがわLab	本屋さんPJ			
仕組みづくり	青パイパイ巻き寿司PJ	久住集落		EスポーツPJ	日野高校Lab
	コミュニティビジネスPJ	高尾集落		しいたけアクアリウムPJ	広瀬Lab
	みちのく福寿草PJ	中菅集落		なんつくPJ	久城Lab
	黒ニンニクPJ	上上菅集落		竹細工PJ	真崎Lab
	田植PJ	黒坂7区		写真展PJ	山根Lab
	さつまいもPJ	下福長集落		ひのLab研究PJ	日野振興センターLab
	青パイパイ担い手づくりPJ	青パイパイ研究会Lab		ガーデニングPJ	
	お散歩PJ	ひのっこLab		農家レストランPJ	5533クラブLab(大宮)
	日野町文化振興PJ	日野町文化団体連携協議会		美しい宮市原PJ	宮市原集落Lab(宮市原)
	特産品開発PJ	阿毘縁特産グループLab(阿毘縁)			
	無人市PJ	5533クラブLab(大宮)			
	まっちんぐアプリPJ	スタッフLab			

- 住民Labの主な取組のうち、【仕組みづくり】に当てはまる、久住集落の青パイパイ巻き寿司PJについてアクションプランを次に記載する。

## 4. 住民Labの主な取組のアクションプラン 【仕組みづくり】の取組「青パイヤ巻き寿司PJ」

PJ名	仕組みづくり	青パイヤ巻き寿司PJ
主体	・久住集落Lab	
目的・効果	・久住集落に特産品を生み出し、集落に収入を生む仕組みをつくる	
対象	・日野町内外の人	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青パイヤを使った巻き寿司の商品開発</li> <li>・青パイヤ巻き寿司の町内外への販売</li> </ul>	
体制	 <p>実線：実施中または実施済み 点線：実施予定</p>	
年度計画	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地調査</li> <li>・青パイヤ巻き寿司の商品開発</li> <li>・道の駅での青パイヤ巻き寿司の販売</li> </ul>
	令和6年度以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青パイヤ巻き寿司の町外への販路拡大とその体制づくり</li> </ul>

## 参考 協定締結式



日野町リノベーションLab協定締結式（2023年3月28日）

（左から）日野町（埜田町長）、当社、島根県中山間地域研究センター、農林水産省農林水産政策研究所、特定非営利活動法人ノーム

- 日野町は、住み慣れた場所で「楽しく」「元気で」「安心して」暮らし続け、地域を未来へとつないでいくため、本Labを立ち上げ。
- 本Labには、研究機関、民間企業・団体等が参加。
- 旧黒坂小学校を拠点、町全体をフィールドとして、地域課題の解決・価値創出に向けた調査・研究、実践を開始。